

6月7日は

「国際反偽造薬デー（World Anti-Counterfeiting Day）」

偽造薬（Counterfeit medicines）は、認可された本物の医薬品を偽った医薬品のことで、治療効果が得られないばかりか、予期せぬ副作用や身体障害、最悪の場合、死をもたらすリスクがあります。

世界では、偽造薬の流通が年々増加しており、そのほとんどがインターネットを介して流通していると言われています。特にアフリカ、南米などでは深刻な問題となっています。

日本では、医薬品医療機器等法により、薬の製造や販売が厳しく規制されています。その定めに従って、私たち中北薬品をはじめ医薬品卸は、薬のサプライチェーンを守る大切な役割を担っています。

「ファイト・ザ・フェイク（反・偽造薬）キャンペーン」は、偽造薬の危険性への意識を高める国際的な取り組みです。現在、中北薬品が理事として参加する IFPW（国際医薬品卸連盟）が事務局を担当しています。薬の安全を守るため、国を越えて団結し、この問題に立ち向かっていきます。

偽造薬について理解を深め、ファイト・ザ・フェイクと一緒に成功させましょう！

